

電子納品管理システム (USBプロテクト版) インストール手順

電子納品管理システムのインストール手順を解説します。

電子納品管理システムは、「電子納品検査プログラム」と「TREND ff」の、2つのプログラムから構成されます。

新規インストールの手順	P.2
バージョンアップの手順	P.6
プログラムのアップデート手順	P.10

【補足1】: SNS-LAN-Xプロテクトを使用される場合は	P.12
--------------------------------------	------

SNS-LAN-Xプロテクト 新規導入の手順

1. システムセットアップ
2. SNS-LAN-Xサーバー(ライセンス管理プログラム)のインストール

【補足2】: JSP-LAN-Rプロテクトを使用される場合は	P.15
--------------------------------------	------

JSP-LAN-Rプロテクト 新規導入の手順

1. システムセットアップ
2. JSP-LAN-Rサーバー(ライセンス管理プログラム)のインストール

注意

インストール前に、データのバックアップをおこなってください。

お客様が作られたデータはお客様にとって大切な財産です。万が一の不慮の事故による被害を最小限にとどめるために、お客様御自身の管理・責任において、データは必ず定期的に2か所以上の別の媒体(HDD、CD、DVDなど)に保存してください。

また、いかなる事由におきましても、データの破損により生じたお客様の損害は、弊社では補償いたしかねますのでご了承ください。

新規インストールの手順

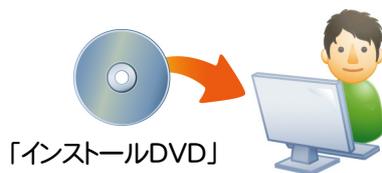
電子納品管理システム(USBプロテクト版)

コンピュータに、初めて電子納品管理システムをインストールする手順です。(アンインストールした後に、再度インストールする場合も同様な手順になります。)

※ 「SNS-LAN-Xプロテクト」を使用される場合は、電子納品管理システムをインストールする前に、「SNS-LAN-Xプロテクト 新規導入時の手順」(P.12)を行ってください。

※ 「JSP-LAN-Rプロテクト」を使用される場合は、電子納品管理システムをインストールする前に、「JSP-LAN-Rプロテクト 新規導入時の手順」(P.15)を行ってください。

1. プログラムをインストールするコンピュータに、「インストールDVD」をセットします。



※ USBプロテクトは、まだコンピュータに装着しないでください。

2. セットアップ画面で、[PS版(ネット認証 or USB)]を押します。



※ 上記画面が表示されない場合は、「インストールDVD」内の[INSTALL.EXE]を実行してください。

3. 「電子納品検査プログラム」と「TRENDff」の両方をインストールする場合は、[電子納品管理システム]ボタンを押します。



「電子納品検査プログラム」のみインストールする場合は、[電子納品検査プログラム]ボタンを押します。



「TRENDff」のみインストールする場合は、[TRENDff]ボタンを押します。

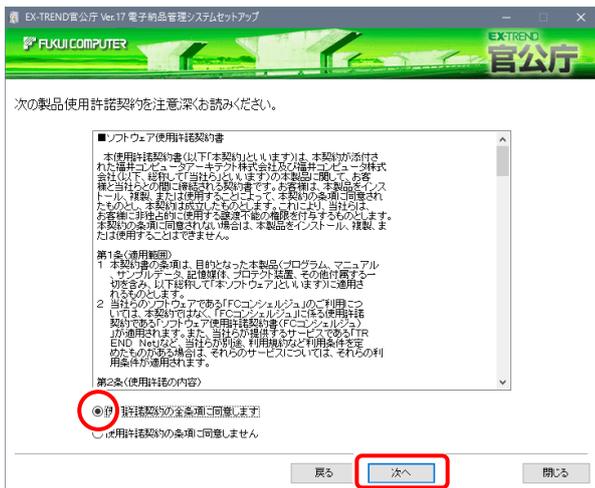


(次ページへ続く)

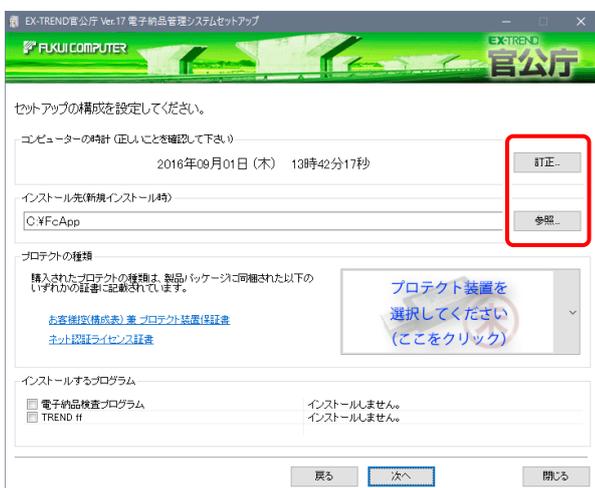
4. 表示される画面に従って、インストールを行います。



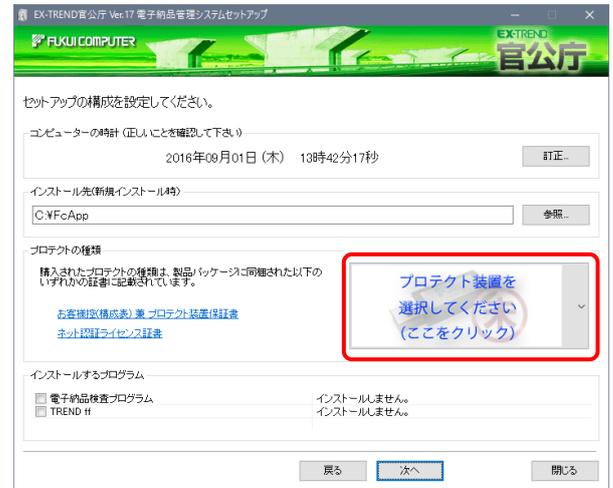
[使用許諾契約の全条項に同意します]を選択して、[次へ]ボタンを押します。



コンピュータの時計、インストール先フォルダを確認します。必要があれば、変更してください。



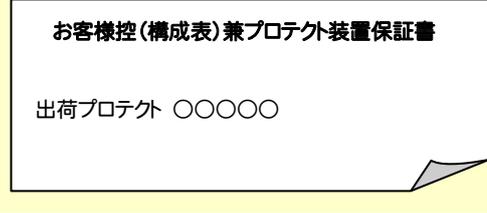
[プロテクト装置を選択してください]をクリックします。



使用するプロテクトの種類を、一覧から選択します。



※ プロテクトの種類は、同梱の「お客様控(構成表)兼プロテクト装置保証書」に記載されています。



(次ページへ続く)

インストールするプログラムのチェックボックスを、オンにします。



「電子納品検査プログラムのみ」または「TREND ff のみ」をインストールするとした場合は、チェックボックスの変更はおこなえません。

内容を確認して、[次へ]を押します。



※ コンピューターの時計が正しくない、プロテクトが正常に動作しません。

その他のオプションを設定し、[次へ]を押します。



【作業フォルダー】

電子納品管理システムが、作業用に使用するフォルダーです。運用上、作業用のフォルダーが指定されている場合は、変更してください。

【共通プログラム】

アンテナハウスPDFドライバーとは、PDFを作成する仮想プリンタドライバです。チェックボックスをオンにすると、同時にインストールされます。

【TREND ff との関連付け】 ※1

[SFC] [P21]のチェックをオンにすることを、お勧めします。

【TREND ff 初期動作モード】 ※1

TREND ff を使用する業務内容を、[土木]または[建築]から選択します。

[土木]または[建築]の、それぞれの業務に適したモードで、TREND ff が起動されます。

後から変更する場合は、インストールされる「起動切り替えツール」で変更する事ができます。

【電子納品検査プログラムのパス設定】 ※2

電子納品検査プログラムが使用するフォルダーです。運用上、各フォルダーが指定されている場合は、変更してください。

※1 TREND ff をインストールする場合に設定可。

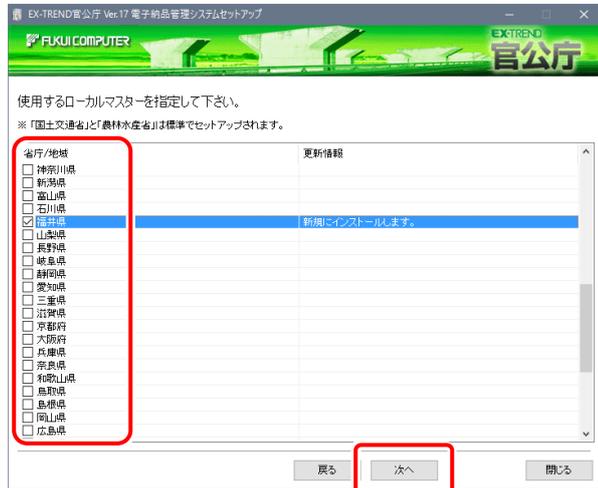
※2 電子納品検査プログラムをインストールする場合に設定可。

(次ページへ続く)

ローカルマスターとは、各省庁や都道府県別に対応した基準案・要領案などの設定ファイルです。

受発注や、納品される可能性のある、省庁や地域のチェックボックスをオンにします。

設定を終えたら、[次へ]を押します。



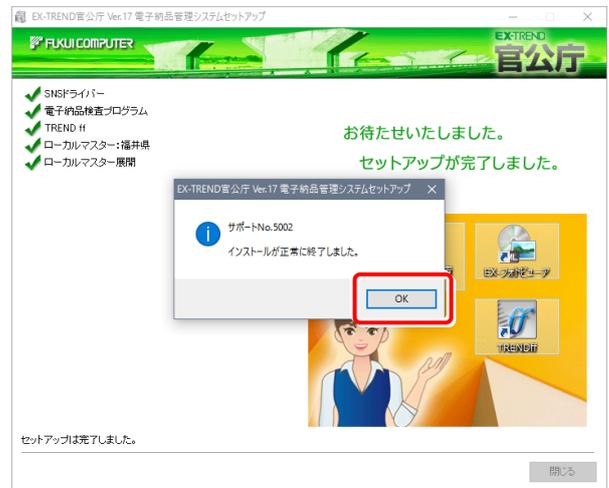
内容を確認して、[インストール]を押します。



プログラムのインストールが、開始されます。



インストールは完了です。再起動のメッセージが表示された場合は、再起動してください。



セットアップされたプログラムのバージョンは、各プログラムを起動後に、[ヘルプ]-[バージョン情報]コマンドで確認することができます。

USBプロテクトを装着してください

プログラムのインストールが完了しましたら、コンピューターにプロテクトを装着してください。(再起動が必要な場合もあります。)

自動的にプロテクトドライバーがインストールされ、プロテクトが使用可能になります。

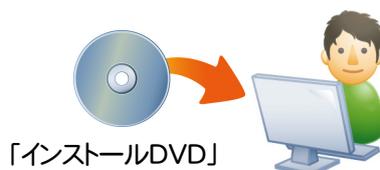


バージョンアップの手順

電子納品管理システム(USBプロテクト版)

旧バージョンの電子納品管理システムを、バージョンアップする手順です。

1. プログラムをインストールするコンピューターに、「インストールDVD」をセットします。



2. セットアップ画面で、[PS版(ネット認証 or USB)]を押します。



※ 上記画面が表示されない場合は、「インストールDVD」内の [INSTALL.EXE] を実行してください。

3. 「電子納品検査プログラム」と「TRENDff」の両方をインストールする場合は、[電子納品管理システム] ボタンを押します。



「電子納品検査プログラム」のみインストールする場合は、[電子納品検査プログラム] ボタンを押します。



「TRENDff」のみインストールする場合は、[TRENDff] ボタンを押します。

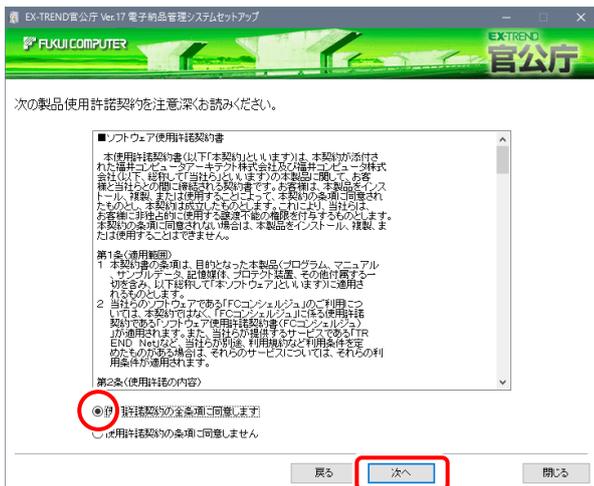


(次ページへ続く)

4. 表示される画面に従って、インストールを行います。



[使用許諾契約の全条項に同意します]を選択して、[次へ]ボタンを押します。



コンピュータの時計を確認します。必要があれば、変更してください。



[プロテクトの種類]に変更がある場合は、プロテクトの画像をクリックして表示される一覧から、変更後のプロテクトを選択してください。



※ プロテクトの種類は、同梱の「お客様控(構成表)兼プロテクト装置保証書」に記載されています。

お客様控(構成表)兼プロテクト装置保証書

出荷プロテクト ○○○○

(次ページへ続く)

インストールするプログラムを確認します。

旧バージョンがインストールされているプログラムは、必ずインストールされます。(チェック変更不可)

現在インストールされていないプログラムで、新規でインストールしたいプログラムについては、チェックボックスを、オンにします。



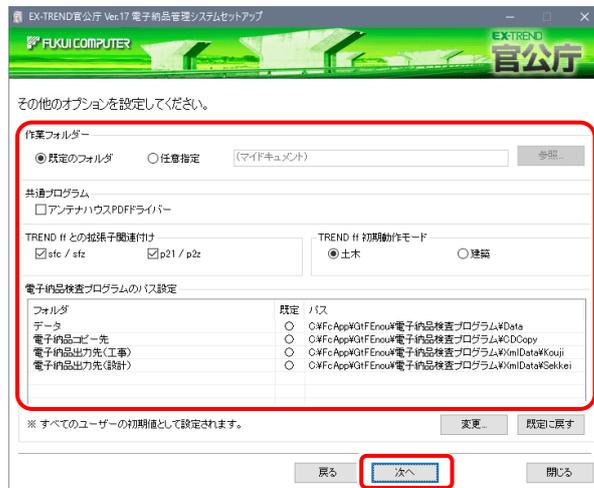
内容を確認して、[次へ]を押します。



※ コンピューターの時計が正しくないと、プロテクトが正常に動作しません。

その他のオプションを設定し、[次へ]を押します。

初期値は、旧バージョンでの設定です。



【作業フォルダー】

電子納品管理システムが、作業用に使用するフォルダーです。運用上、作業用のフォルダーが指定されている場合は、変更してください。

【共通プログラム】

アンテナハウスPDFドライバーとは、PDFを作成する仮想プリンタドライバです。チェックボックスをオンにすると、同時にインストールされます。

【TREND ff との関連付け】 ※1

[SFC] [P21]のチェックをオンにすることを、お勧めします。

【TREND ff 初期動作モード】 ※1

TREND ff を使用する業務内容を、[土木]または[建築]から選択します。

[土木]または[建築]の、それぞれの業務に適したモードで、TREND ff が起動されます。

後から変更する場合は、インストールされる「起動切り替えツール」で変更する事ができます。

【電子納品検査プログラムのパス設定】 ※2

電子納品検査プログラムが使用するフォルダーです。運用上、各フォルダーが指定されている場合は、変更してください。

※1 TREND ff をインストールする場合に設定可。

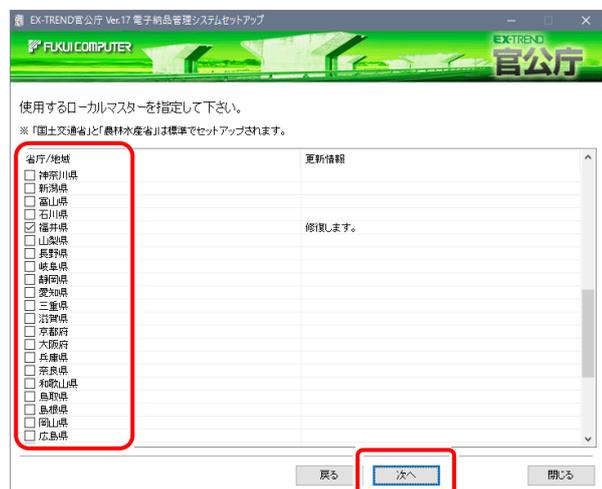
※2 電子納品検査プログラムを、新規でインストールする場合のみ設定可。

(次ページへ続く)

ローカルマスターとは、各省庁や都道府県別に対応した基準案・要領案などの設定ファイルです。

受発注や、納品される可能性のある、省庁や地域のチェックボックスをオンにします。

設定を終えたら、[次へ]を押します。



内容を確認して、[インストール]を押します。



プログラムのインストールが、開始されます。



インストールは完了です。再起動のメッセージが表示された場合は、再起動してください。



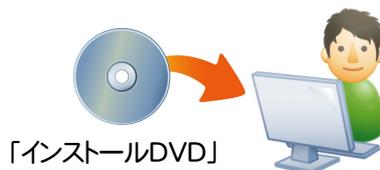
セットアップされたプログラムのバージョンは、各プログラムを起動後に、[ヘルプ]-[バージョン情報]コマンドで確認することができます。

プログラムのアップデート手順

電子納品管理システム(USBプロテクト版)

コンピューターに、同バージョンの電子納品管理システムがインストールされている場合のインストール方法です。
お客様の入力したデータが削除されたり、各種設定ファイルが更新されることはありません。

1. プログラムをインストールするコンピューターに、「インストールDVD」をセットします。



2. セットアップ画面で、[PS版(ネット認証 or USB)]を押します。



※ 上記画面が表示されない場合は、「インストールDVD」内の [INSTALL.EXE] を実行してください。

3. 「電子納品検査プログラム」と「TRENDff」の両方をインストールする場合は、[電子納品管理システム] ボタンを押します。



「電子納品検査プログラム」のみインストールする場合は、[電子納品検査プログラム] ボタンを押します。

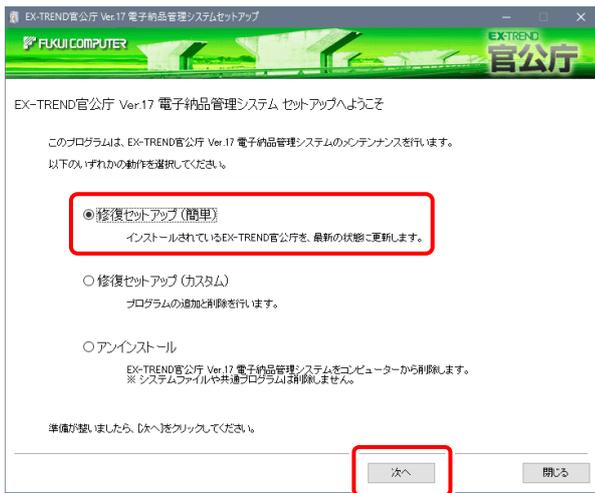


「TRENDff」のみインストールする場合は、[TRENDff] ボタンを押します。



(次ページへ続く)

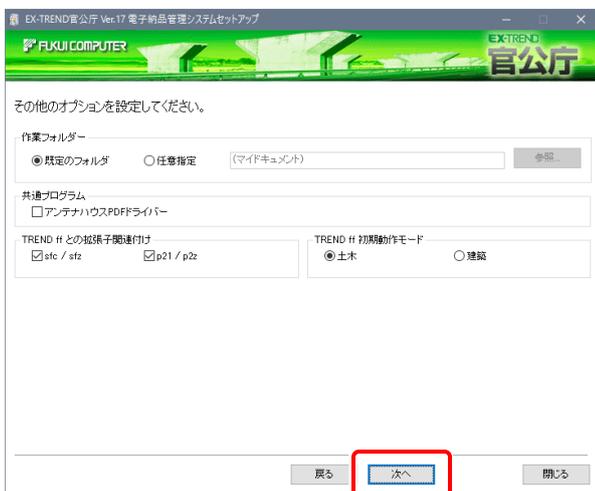
4. [修復セットアップ(簡単)]を選択して、[次へ]を押します。



[次へ]を押します。



その他オプションに変更がある場合は、設定し直してください。設定を終えたら、[次へ]を押します。



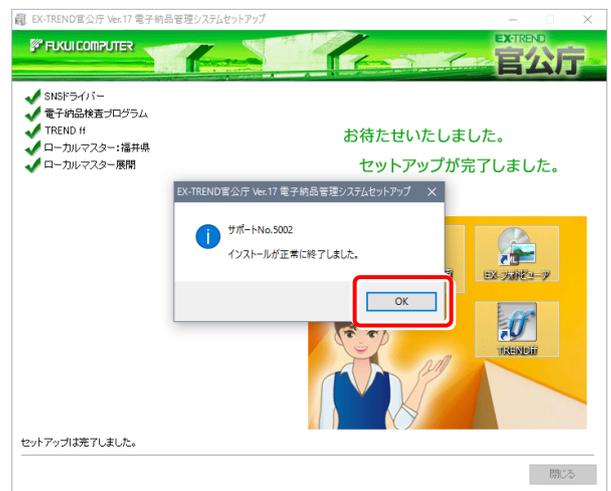
内容を確認して、[インストール]を押します。



プログラムのインストールが、開始されます。



インストールは完了です。再起動のメッセージが表示された場合は、再起動してください。



【補足1】:SNS-LAN-Xプロテクトを使用される場合は

SNS-LAN-Xプロテクトの、「新規導入時の手順」です。
プログラムのインストールをおこなう前に、実行してください。

SNS-LAN-Xプロテクト 新規導入時の手順 (1. システムセットアップ → 2. SNS-LAN-Xサーバーのインストール)

SNS-LAN-Xプロテクトを装着するサーバーに、まず「SNS-LAN-Xプロテクト」をインストールします。
その後SNS-LAN-Xサーバー(ライセンス管理プログラム)をインストールします。

1. システムセットアップ

1. ライセンス管理用のサーバーに、「SNS-LAN-X用ライセンスCD」をセットします。



※ 重要!!

USBプロテクトは、
まだサーバーに
装着しないでください。

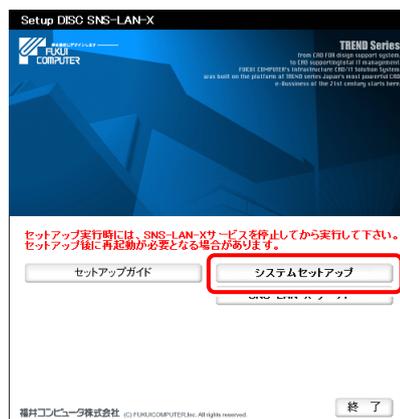


「SNS-LAN-X用ライセンスCD【更新用】」 をお持ちのお客様は

プログラムのバージョンアップや、プログラムの追加購入で、「SNS-LAN-X用ライセンスCD【更新用】」をお持ちのお客様は、最新の「SNS-LAN-X用ライセンスCD【更新用】」をサーバーにセットして新規インストールをおこなってください。

(古い「SNS-LAN-X用ライセンスCD」は使用しないでください。バージョンアップや追加購入したプログラムが動かなくなる可能性があります。)

2. セットアップ画面の[システムセットアップ]ボタンを押します。



※ 上記画面が表示されない場合は、「SNS-LAN-X用ライセンスCD」内の「Install.exe」を実行してください。

(次ページへ続きます)

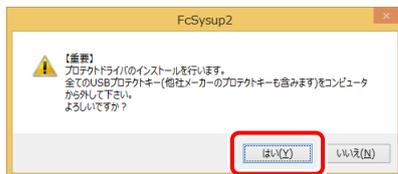
3. USBプロテクトの画像のボタンを押します。



[SNS-LAN-X]ボタンを押します。



USBプロテクトがサーバーから外されている事を確認後、[はい]ボタンを押します。



※ 重要!!

他社のソフトウェアで使用しているUSBプロテクトがある場合は、そのUSBプロテクトも外してください。

[OK]ボタンを押してサーバーを再起動します。

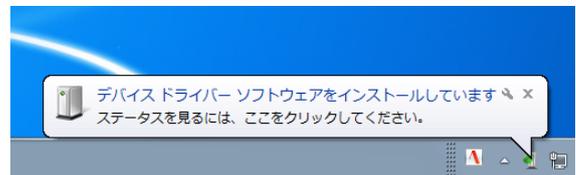


4. サーバーの再起動後、USBプロテクトを装着します。



自動的にデバイスドライバーソフトウェアがインストールされ、プロテクトが認識されます。

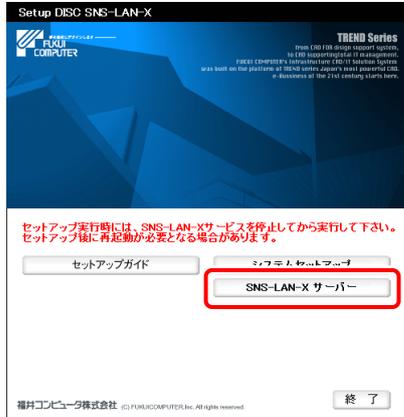
(Windows7の場合は、下のようなメッセージが表示されます。)



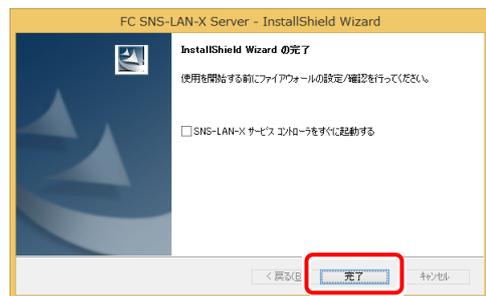
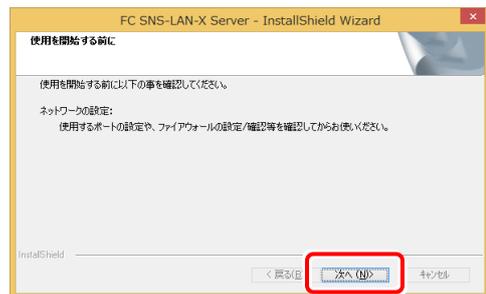
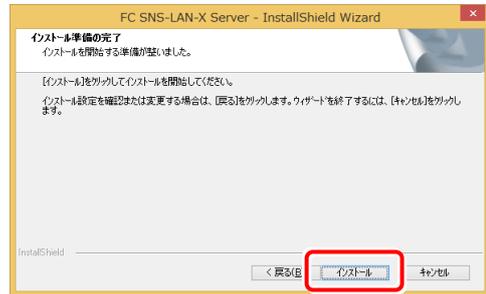
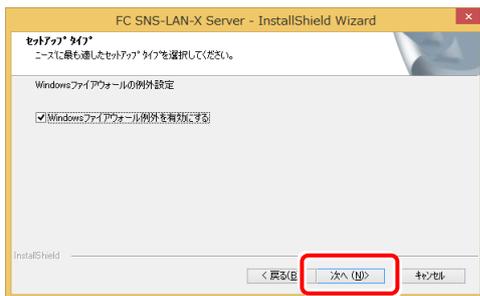
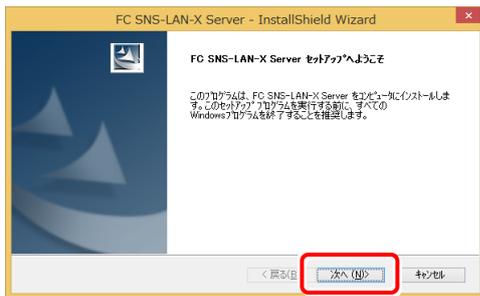
(次ページ「Step2」へ進みます)

2. SNS-LAN-Xサーバー(ライセンス管理プログラム)のインストール

1. USBプロテクト[SNS-LAN-X]を装着したサーバーで、[SNS-LAN-Xサーバー]ボタンを押します。



2. 表示される画面に従って、SNS-LAN-Xサーバーをインストールします。



SNS-LAN-Xプロテクトの新規導入は、以上で完了です。

再起動のメッセージが表示された場合は、再起動してください。

【補足2】：JSP-LAN-Rプロテクトを使用される場合は

JSP-LAN-Rプロテクト(オレンジ色)の、「新規導入時の手順」です。
プログラムのインストールをおこなう前に、実行してください。

JSP-LAN-Rプロテクト 新規導入時の手順

(1. システムセットアップ → 2. JSP-LAN-Rサーバーのインストール)

JSP-LAN-Rプロテクトを装着するサーバーに、まず「JSP-LAN-Rプロテクト」をインストールします。
その後JSP-LAN-Rサーバー(ライセンス管理プログラム)をインストールします。

1. システムセットアップ

1. JSP-LAN-Rプロテクトを装着するサーバーに、「インストールDVD」をセットします。



※ 重要!!

プロテクトは、まだサーバーに挿さないでください。



2. セットアップ画面で、[PS版(ネット認証 or USB)]を押します。



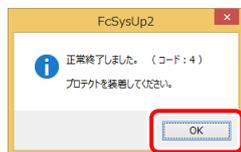
※ 上記画面が表示されない場合は、「インストールDVD」内の [INSTALL.EXE] を実行してください。

3. [USB プロテクトをお使いの方はこちらへ] をクリックします。



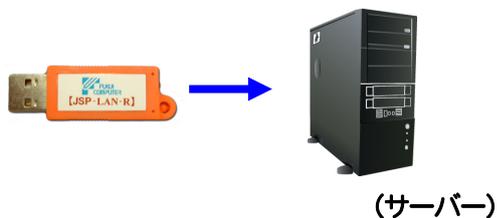
(次ページへ続く)

4. [JSP-LAN-R] ボタンを押します。
システムセットアップが実行されます。



※ 再起動が必要なメッセージが表示された場合は、一旦再起動します。

5. サーバーに、JSP-LAN-R プロテクトを装着します。



6. 自動的にプロテクトドライバがインストールされ、プロテクトが認識されます。

システムセットアップは完了です。

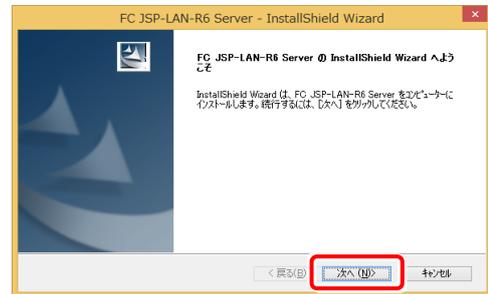
続いて次ページ「2. JSP-LAN-Rサーバー(ライセンス管理プログラム)のインストール」に進みます。

2. JSP-LAN-Rサーバー(ライセンス管理プログラム)のインストール

1. [JSP-LAN-Rサーバー]ボタンを押します。



2. 表示される画面に従って、JSP-LAN-Rサーバーをインストールします。



JSP-LAN-Rプロテクト(オレンジ色)の新規導入は、以上で完了です。

再起動のメッセージが表示された場合は、再起動してください。